

件名：東京国際空港新貴賓室新築工事

平成30年9月20日

東空建第 64 号

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
		(共通)	
1	A-001 A-017 A-021	<p>特記仕様書・立面図に見本施工の範囲が記載されておりますが、下記項目を御指示下さい。</p> <p>■平面的に凹凸がある為、具体的な範囲を平面図にて御指示下さい。</p> <p>■特記仕様書にて、必要建具がSSW-202のみとなっております、再度該当建具を平面図にて御指示下さい。</p> <p>■特記仕様書にて、SSW-202の防弾ガラスを一般ガラスで代用との記載が御座います。ガラス仕様及び厚さを御指示下さい。</p> <p>■見本施工の下地について、仮設と考えて宜しいでしょうか。又、仮設下地の仕様について詳細御指示下さい。</p>	<p>■追加補足図A-017～019を参照してください。</p> <p>■A-021図の範囲に含まれるSSW-104(防弾ガラスは一般のガラスで代用可)、SSW-202、SSD-121を含みます。</p> <p>■代用も可とするものです。代用の場合は透過率が実際の防弾ガラスに極力近いものが望ましいと考えますが、仕様は提案によるものとします。</p> <p>■よろしいです。仕上げを確認する趣旨であるため、下地の仕様は提案によるものとします。</p>
2	A-011 A-701	A-011 敷地求積図・敷地現況図に、整地レベルは下仮想敷地境界線等より2m内外はAP+5.262とあり、A-701外構平面図には設計GL=AP+5.520とあります、当社施工開始時の地盤レベルは、A-011を正としても宜しいでしょうか。御指示下さい。	施工開始時の地盤レベルは、A-011の通りとなります。設計GLはレベル管理上の仮想レベルとなります。
3	A-701	A-701外構平面図には設計GLと1FLの高さのほかに「地盤面AP+5.307」と記載されておりますが、この「地盤面」の示すものを御指示下さい。	A-012に示す建築基準法上の「地盤面」となります。
		(構造)	
		<貴賓室>	
4	S-002 S-010	S-002特記仕様書構造関係その2 のコンクリート工事・気乾単位容積質量の項目に普通コンクリートは2.3t/m ³ 程度 と指示がございしますが、S-010建築工事特記仕様書10 構造関係(1) 6章 コンクリート工事1. コンクリートの種類及び品質の項目の表にあるその他外構と土間コンクリートについては、指示スランプ値、強度を考慮すると気乾単位容積質量2.3t/m ³ を下回る可能性がございしますが宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
5	数量公開資料 細目別内訳 193	数量公開資料 細目別内訳 193 共通仮設(積上)にレディミクストコンクリート単位水量測定 という項目がございますが、圧縮強度試験、塩化物量試験など、一般的な試験に加え、単位水量測定も見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。(S-002,003参照)
6	S-010	設備基礎のコンクリート仕様が床コンクリート仕様を同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
7	S-010 S-055	ハーフPC板底のコンクリート仕様がF _c 27 S18と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ハーフPC板底はF _c 21 S18としてください。
8	S-010 S-028 S-065~066	X0-/Y3-9間・X20/Y4-Y7間の基礎・擁壁コンクリート仕様が本体棟のコンクリート仕様を倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	基礎・基礎梁(付属棟)を適用してください。
9	S-025 A-020	地階ピットの仕切梁配置が構造ピット伏図と意匠地階ピット平面図を相違しております。構造ピット伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。
10	S-025 S-027 A-020	人通孔・下部連通管・上部通気管の配置が構造図と意匠図を相違しております。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別紙S①、追加補足図A-020を参照してください。
11	A-020 A-024~026	地階1階平面図の設備ピット範囲にA記号及び上部通気管VP100φのみとありますが、各々矩計図より設備ピット内部が全面オープン形状となるため、A記号の通気管が不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	オープンですが梁型による空気の滞留を防ぐため図面通り設置とします。
12	S-010 S-063~064	梁貫通補強において特記仕様書に既製品補強(MH型)とありますが、梁貫通孔補強要領規準図では在来補強と相違しております。在来補強と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	梁貫通孔補強要領規準図を正とし、H型としてください。
13	A-024	設備ピットの水勾配コンクリート補強有無において、勾配厚50~120mmが有るため、溶接金網φ6-100×100補強を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
14	S-014 S-045	大梁の増打h>200場合の補強要領が配筋規準図に記載されておりません。基礎梁・耐圧版・地下外壁リスト図に共通事項の基礎梁増打要領を倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別紙S②を参照してください。
15	S-044	基礎F4の杭頭廻り補強外HOOPが断面図左側D16と右側D19を記載相違しております。外HOOPがD19と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D16@100を正としてください。
16	S-032~043	バットレス配筋要領がありません。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■軸方向補強：D19@200 ■縦・横肋筋：D13@150	別紙S③を参照してください。
17	S-066	室外機置場(2)詳細図の設備基礎配筋詳細図において、上・下端主筋径が左側断面詳細D22と右側断面詳細D13を相違しております。主筋径D22を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	主筋径D22を正としてください。
18	A-017 S-014	梁型設備基礎(1階平面図のX1-/Y6a-7間)があります、配筋規準図に上・下端筋詳細がありません。上・下端筋共D22@200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	べた基礎状とし配筋詳細はS-014 15(b)によるものとして、鉄筋補強D13@150、コーナー筋D13としてください。
19	A-024 S-014	花崗岩受け・SSW下の立上り配筋要領がありません。縦横共D10@150ダブル 端部2-D13と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
20	A-024~025	梁側に土間受け顎の配筋要領がありません。D13@200程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別紙S④を参照してください。
21	A-025 S-026~027	地下階壁取り付く二段梁有無において、矩計図2の消火ポンプ室・空調機械地下壁中間に二段梁を記載されておりますが、構造図に該当梁を見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。
22	S-030 S-053	R階屋根床がフラットデッキと考えて宜しいでしょうか。 また、フラットデッキの使用範囲がR階屋根のみと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	R階屋根と1FL+4100のSRC部分の屋根としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
23	S-029 S-030 S-069~081	耐火被覆について(S-069~S-081)に耐火被覆範囲図が御座いますが、軸組図にある梁しか御座いません。以下の範囲にも被覆が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■R階伏図全域 (大梁・小梁) → 吹付ロックウール 厚25 ■1FL+4100伏図全域(大梁・小梁 (耐火塗料範囲以外))→ 吹付ロックウール 厚25	■R階伏図全域 (大梁・小梁) → 吹付ロックウール 厚25としてください。 ■1FL+4100伏図全域(大梁・小梁 (耐火塗料範囲以外)) → 吹付ロックウール 厚25 としてください。 但しS-081 X19通り軸組図に示すとおり、X19a通りY1-2間のSB25は、吹付ロックウール30mmとします。
24	A-025 A-026 A-131 A-304 S-069~081	矩計図2・断熱範囲図で屋根梁型部に吹き付け断熱材と御座います。耐火被覆範囲図では構造梁に吹付ロックウールが御座います。構造部材(梁型)は吹付ロックウールとし、上部CT形鋼は意匠図通り吹付断熱材厚50で宜しいでしょうか。御指示下さい。	梁と同様とし、吹付ロックウールとしてください。
		<制限区域内化粧室>	
25	A-601 S-067	制限区域内化粧室について、捨コン・砕石が意匠図と構造図で違います。FG1・FS1・FCS1下端全て捨コン50・砕石150と考えましたが宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。
26	S-067 A-601	基礎梁FG1の形状は構造図と意匠図が下記のように相違しております。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■構造図：FG1両側に布基礎有り ■意匠図：FG1両側に布基礎無し	構造図を正としてください。
27	S-067 A-601	基礎伏図ではAY1通り側のピット内に小梁のような躯体が記載されておりますが、意匠ピット図では表記されておられません。小梁無しと考えて宜しいでしょうか。小梁有りの場合に、記号とリスト詳細が不明です。併せて御指示下さい。	意匠図を正としてください。
28	S-067 A-601	1階スラブ天端レベルは構造図と意匠図が下記のように相違しております。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■構造図：1FL±0 ■意匠図：1FL-60	意匠図を正としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
29	S-067 A-601	1階壁天端レベルは伏図と軸組図が下記のように相違しております。伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■伏図：1FL+2580 ■軸組図：1FL+2525	軸組図を正としてください。
30	S-014 S-045	梁の打増し補強筋は200を超える場合は本体の補強要領に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
31	S-067 A-601	基礎梁下端レベルは構造図と意匠図が下記のように相違しております。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■構造図：GL-1350 ■意匠図：GL-1550	意匠図を正とし、GL-1550=1FL-1650としてください。
		<制限区域外化粧室>	
32	A-602・603 S-068	制限区域外化粧室について、捨コン・砕石が意匠図と構造図で違います。FG1・FS1・FCS1下端全て捨コン50・砕石150と考えましたが宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。
33	S-068 A-603	1階スラブ天端レベルは構造図と意匠図が下記のように相違しております。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■構造図：1FL±0 ■意匠図：1FL-60	意匠図を正としてください。
34	S-068 A-603	1階壁天端レベルは伏図と軸組図が下記のように相違しております。伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■伏図：1FL+2400 ■軸組図：1FL+2525	軸組図を正として1FL+2525を構造躯体の壁高さとしてください。
35	S-068 A-603	基礎梁下端レベルは構造図と意匠図が下記のように相違しております。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■構造図：GL-1350 ■意匠図：GL-1550	意匠図を正としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
36	S-068	鉄骨柱C1のベース下モルタルは厚さ30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	無収縮モルタルt30でよろしいです。
		(外部)	
		<貴賓室>	
37	A-302 A-303 A-305	天井懐内外壁のケイ酸カルシウム板の厚みが部分詳細図(1)・(2)・(4)で厚33及び厚35の2種類見受けられますが、使い分け範囲が不明です。全て厚35と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。また使い分けが必要な場合はそれぞれの施工範囲を御指示下さい。	全てt=35とします。
38	A-404	屋根・庇詳細図 C.軒先断面図(下屋)で屋根水下～軒樋取合部に水切:屋根同材加工と記載がありますが、寸法及び下地材等の詳細が不明です。御指示下さい。	屋根水下～軒樋取合部(軒先-600程度)に記載の水切は誤記のため不要とします。
39	A-018 A-308	下屋屋根の軒樋部:ルーフレンの仕様・程度が不明です。落し口 ステンレス製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	追加補足図A-018を参照してください。
40	数量公開資料P.66	数量公開資料 屋根及びとい工事で落し口:ステンス 100φが1ヶ所ありますが、施工範囲が不明です。御指示下さい。	追加補足図A-018を参照してください。
41	A-408 数量公開資料P.67	数量公開資料 金属工事で上屋軒天及び軒天アルミカットパネルにパネル固定金物:スチール厚4.5 L=40と記載がありますが、軒天詳細図では見受けられません。数量公開資料を参考に必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-408軒天詳細図を正とします。
42	A-301 数量公開資料P.68	1階室外機置場1の吹抜廻り手摺について、雑詳細図(1) 屋外機置場ドライエリア廻り詳細図(D-0108)に記載がありますが、受け金物の仕様・程度が不明です。数量公開資料 金属工事を参考に受け:PL-9×80×140と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
43	A-301	雑詳細図(1) 屋上壁取合詳細図(D-0105・0120)で防水押えコンクリート内に溶接金網の記載がありますが、寸法は6.0φ-100×100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S-001の通りとします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
44	A-015 A-301	屋外機置場の床仕上が外部仕上表と雑詳細図(1)屋外機置場ドライエリア廻り詳細図(D-0108)で相違します。外部仕上表を正とし、塗床(3)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■外部仕上表:塗床(3) ■雑詳細図(1):ポリマーセメント系塗膜防水(押えコンクリート上面)	ポリマーセメント系塗膜防水の上押えコンクリートとし、押えコンクリートの仕上げを塗床(3)とします。
45	A-020	地階・ピット階平面図で機器搬入スペースに排水溝:W150×H100の記載がありますが、仕上が不明です。底:コンクリート金鍍 仕上、立上り:コンクリート打放補修 仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	底:C+T+塗床(3) 立上:C打放(B種)+塗床(3)とします。
46	A-020	地階・ピット階平面図で機器搬入スペースに排水桝:600角の記載がありますが、仕上及びH寸法が不明です。底:コンクリート金鍍 仕上、立上り:コンクリート打放補修 仕上、深さ:H=600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	底:C+T 立上:C打放(B種) 深さH=100とします。
47	A-020 数量公開資料P.68	地階・ピット階平面図で機器搬入スペースにマンホールの記載がありますが、仕様・程度が不明です。数量書を参考に、密閉形(テーパ・パッキン式)5KN(T-2)内径600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。(A-006鑄鉄製ふたによる)
48	A-301	雑詳細図(1)屋上配管取出口詳細図(D-0107)で水切部分の仕上がポリマーセメント系塗膜防水+DPと記載がありますが、その他の部分の仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①屋根:コンクリート金鍍+ポリマーセメント系塗膜防水+DP ②屋根見付:コンクリート打放補修+ポリマーセメント系塗膜防水+DP W50×H170 ③外壁(RC部):コンクリート打放補修+DP ④外壁(CB部):CB厚150(空洞ブロック08)+モルタル塗 厚20+DP	以下の通りとします。 ①屋根:コンクリート金鍍+ポリマーセメント系塗膜防水+DP ②屋根見付:コンクリート打放補修+ポリマーセメント系塗膜防水+DP W50×H170 ③外壁(RC部):コンクリート打放補修+ポリマーセメント系塗膜防水+DP ④外壁(CB部):CB厚150(空洞ブロック08)+モルタル塗 厚20+DP
49	A-101	1階平面詳細図(1)で室外機置場1に設備基礎:W1800×D600×H500と記載がありますが、詳細が不明です。べた基礎とし、仕上はポリマーセメント系防水(床同材)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	べた基礎とし、仕上げはポリマーセメント系塗膜防水+DPとします。

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
50	A-015 数量公開資料P.76	外部仕上表で外壁:PC板面の仕上が左官(2)と記載がありますが、左官(2)の凡例内容が不明です。参考明細に倣い、白漆喰 厚12と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、白漆喰 厚12の参考メーカー・品番があれば併せて御指示下さい。	追加補足図A-008を参照してください。
51	A-024～ A-026	金属屋根葺下のRC面の仕上はパライトモルタルを見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
52	数量公開資料P.46	数量公開資料 型枠工事で下記の項目が見受けられますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。 ①型枠:打放合板型枠A種 ラーメン構造 地下軸部 階高5.0m程度 7.9㎡ ②コン処理:417㎡	①はB1Fの機器搬入スペースの上裏が該当範囲になります。 ②公共建築工事標準仕様書6.8.4(i)による部分とします。
53	S-002	コンクリート打放補修について、特記仕様書 構造関係(その2)で地下1階床より上部はA種、基礎部はC種と記載がありますが、外部仕上については下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①塗装下地:A種 ②塗膜防水下地、塗床下地、素地仕上(排水溝・排水樹内部):B種	外部及び内部、擁壁等については以下とします。 A種:塗装下地、屋外WC内壁(図示) B種:塗膜防水・塗布防水下地、塗床下地、左官下地、消火ポンプ室・空調機械室壁、設備基礎立上り、設備ピット階段立上り C種:石張り下地、電気室壁、水槽天井素地部、設備ピット壁、化粧室ピット壁・天井
54	A-116 A-408	下屋軒天:アルミカットパネルの化粧リブの施工範囲は軒天詳細図を参考に軒先～2500までを化粧リブ無し、その他を化粧リブ付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-116及びA-408の通り、軒先から2,500までは化粧リブ無しとします。
55	A-116 A-408	軒天:アルミカットパネルの目地部について、軒天詳細図でシーリングの記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
56	A-001	特記仕様書 1.一般共通事項の見本施工に関して、立面図でX13～15通り間の範囲となっておりますが、X14通り部分が奥行き7500程度あり、モックアップとしての奥行き形状が不明です。御指示下さい。	追加補足図A-017～019を参照してください。
57	A-002 A-015	地中防水ですが、特記仕様書ではY-1ゴムアスファルトですが、材料表ではポリマーセメント系と相違します。材料表を正とし、ポリマーセメント系塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
58	A-002 A-015	上記に関連しますが、地中防水は後やり工法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
		(内部)	
		<貴賓室>	
59	数量公開資料P62 A-015	巾木・壁:天然木練付合板(2)の仕様は、数量公開資料より下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■樺桜 総厚6.1(突板 厚0.6以上) 柱目 突板巾180mm以上 染色ウレタンCL3分艶有	A-005に記載の仕様としますが、天然木練付合板(2)は征目が正です。
60	A-015	床フリアクセスフロア-H-150のメーカー・品番が不明です。御指示下さい。	メーカー・品番指定はありません。
61	A-015	水槽のケイ酸質系塗布防水のメーカー・品番が不明です。御指示下さい。	メーカー・品番指定はありません。
62	A-015	EPS・PS・DSの天井が、内部仕上表で直天:現しと記載がありますが下地がC5:SF+GB@t15+15+GW24kg/m3です。直天:現し+下地C1と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-024・026図を正とし、下屋レベルの天井はないものとします。(上屋天井まで吹抜)
63	数量公開資料P62 A-304	天井:天然木練付合板(1)の仕様は、数量公開資料より吉野杉 総厚6.1(突板 厚0.6以上)板目(中空)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-005の通りとします。
64	A-016 A-131	外壁断熱材:硬質ウレタンフォームの厚みが、壁仕様図ではt50ですが断熱範囲図ではt25です。T25と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
65	A-020	人通口600φの仕様は、VU管と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
66	A-020	人通口上部SUS手掛けの部材寸法が不明です。御指示下さい。	建築工事標準詳細図8-31-1によります。
67	数量公開資料P119 A-020	マンホールの仕様は、数量公開資料より鋳鉄製φ600密閉型T-2鍵無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-006鋳鉄製ふたによる。

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
68	A-006 A-020	床点検口が特記仕様書6に記載されておりますが、ピット階平面図ではマンホールのみです。貴賓室本体では床点検口は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-006ユニット及びその他の工事の「床点検口」はなしとし、床下点検口はA-006排水工事の「鑄鉄製ふた」とします。
69	A-301	雑詳細図1(D-0110)タラップ(ピット内)の下部基礎について、不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合表面仕上・寸法及び配筋要領を御指示下さい。	別紙S⑤を参照してください。
70	A-131 A-301	設備ピット天井断熱材仕様が、断熱範囲図では押出法ポリスチレンフォームt25ですが雑詳細図1D-0113では現場発泡ウレタンt50です。断熱範囲図を正とし、押出法ポリスチレンフォームt25と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
71	A-020	釜場の内部仕上は、ポリマーセメント系塗膜防水(水槽:塗布防水)+モルタル金鍍と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	底: C+T+ポリマーセメント系塗膜防水 立上: C打放(B種)+ポリマーセメント系塗膜防水 とします。
72	A-015 A-025	壁遮音シートの厚みが、内部仕上表の特記事項ではt1.1ですが矩計図2ではt1.0です。T1.1と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
73	A-129 A-301	雑詳細図1 洗面カウンター詳細図について、適用範囲はMWC5・WWC5と考えて宜しいでしょうか。又、MWC5・WWC5 洗面カウンターのD寸法及びH寸法が展開図と雑詳細図で下記のように相違致します。雑詳細図1 洗面カウンター詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■展開図12:D745×H700 ■雑詳細図1:D600×H750	適用範囲はMWC5・WWC5とします。D600×H750を正とします。
74	A-108 A-109 A-115	MWC4・WWC4の洗面化粧台の巾木について、水廻り詳細図4・5では大理石(5)ですが、水廻り詳細図11では花崗岩(4)です。水廻り詳細図11を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	大理石(5)を正とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
75	A-303 A-304 A-403	1階Y9通り及び2階X3通りのロールスクリーンボックスのW寸法について、部分詳細図2と電動ロールスクリーン詳細図2で相違しています。電動ロールスクリーン詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■部分詳細図2(1階Y9通):W=230 ■部分詳細図3(2階X3通):W=270(表記) ■電動ロールスクリーン詳細図:W=250	部分詳細図を正とし、以下の通りとします。 下屋Y9通り:W230×H280 上屋Y3、Y9通り:W280×H250(170) 上屋X3、X18通り:W280×H250～490
76	A-403	2階X3通りのロールスクリーンボックスのH寸法について、250(min)と寸法表記されていますが(max)側のH寸法表記がございません。詳細御指示下さい。	上記回答の通りとします。
77	A-301	雑詳細図1 ライニングについて、D-0122腰壁下部耐水合板 t12裏側に「補強材」とありますが、仕様・寸法・施工範囲が不明です。御指示下さい。	追加補足図A-301を参照してください。
78	数量公開資料P104 A-105～109	MWC・WWC1～4のL型手摺について、仕様・詳細が不明です。数量公開資料より下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■SUS φ34×2.0 W700×H700 曲げ加工 ブロンスメッキ仕上 縦横共握り部木練付 W=500	当該手摺は図面に記載の「※手摺」が該当します。
79	A-105～109	壁の取付下地補強について、下記の場所に耐水合板t=12が必要と考えて宜しいでしょうか。又、下記手摺の下地寸法が不明です。それぞれ御指示下さい。 ①紙巻器 ②L型手摺	追加補足図A-301を参照してください。
80	A-002 A-111～113	ライニング天板・ニッチ天板:大理石(2)又は花崗岩(5)の厚みについて、特記仕様書(2)ではt=30ですが、水廻り詳細図7～9ではt=25です。特記仕様書を正としてt30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
81	A-113	前室(3-1)(3-2)のニッチ床下地について、詳細が不明です。合板t=12+木下地組H=80と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	耐水合板t=12+木下地組とします。
82	A-115	手洗い室 照明BOXの仕上が「シロ塗装」と表記されておりますが、仕様が不明です。白色の焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-AE(白色)とします。
83	A-115	手洗い室・MWC4・WWC4の洗面化粧台部ライング腰壁について、下地組の仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	鋼製下地とします。
84	A-108 A-109	WWC4の洗面化粧台左右について、ニッチの様な図がありますが、天板の仕様が不明です。花崗岩(5)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
85	A-002 A-104	MWC5の汚垂石について、平面詳細図に表記が見当たりません。MWC4に倣い、花崗岩(4) 奥行き:600が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	グラニット(サンゲツ)同等以上W600とします。
86	A-104	WWC4のSKについて、SK棚・フック等は必要無いでしょうか。必要な場合は仕様・寸法を御指示下さい。	追加補足図A-301を参照してください。
87	A-104 A-301	給湯室のキッチン幅について、1階平面詳細図4ではW=2600程度ですが、雑詳細図1ではW=3000です。雑詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
88	A-301	給湯室のキッチン廻りキッチンパネル(メラミン不燃化粧板)について、下記詳細を御指示下さい。 ①キッチンパネル厚さ ②キッチンパネル見切金物	①製造所の仕様によることとします。 ②既製塩ビジョイナーとします。
89	A-301	給湯室パントリーキッチンのメーカー・品番を御指示下さい。	メーカー・品番指定はありません。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
90	A-301	消火器スペース床のメラミン化粧合板について、厚みはt=30と考えて宜しいでしょうか。又、下地組の仕様・詳細が不明です。木下地組H=90と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-208によります。
91	A-017 A-102	前室2-1の消火器ボックスについて、1階平面詳細図2でWD-116消火器ボックス横に消火器ボックス(埋込型)がありますが、WD-116消火器ボックスのみとし、消火器ボックス(埋込型)は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
92	A-017 A-104	廊下1の消火器ボックスについて、1階平面図では置型ですが、1階平面詳細図4で埋込型です。1階平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
93	A-017	1階ホールのカウンター下消火器ボックス(埋込型)について、詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■外ケース:スチール 厚1.6 B-AE W700×D180×H265 (膳板下地に固定) 側板:スチール 厚1.6 B-AE 内ケース:スチール 厚1.6 B-AE W650×D175×H100 手掛け背面枠:スチール FB-3×38(44) B-AE 下部下地:スチール 25×25×1.6 B-AE 緩衝材 厚5共	A-303によります。
94	A-306	WC上部足場のタラップ幅について、部分詳細図5にL300と記入がありますが、L750の様に見えます。L=750を正と考えて宜しいでしょうか。又、タラップの仕上について、溶融亜鉛メッキ C種と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	W750×D150、仕上げは錆止め塗装の上SOP塗とします。
95	A-114	天井木格子の仕様は、数量公開資料より下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■樺桜ムク材 着色ラッカー塗装3分艶有	A-003 天井木格子によります。
96	A-114	天井木格子押え縁「金物削り出しシート貼り」の詳細仕様を御指示下さい。 ①削り出し金物の材種 ②シート貼りの仕様	①スチール ②硬質塩ビタックシート とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
97	A-015 A-025 A-026	ホール・貴賓室天井廻り縁が、矩計図2・3に「廻り縁:木」と表記がございますが、仕上表及び部分詳細図3では記載ございません。仕上表・部分詳細図3を正とし、「廻り縁:木」は不要と考えて宜しいでしょうか。相違する場合下記詳細御指示下さい。 ①平面設置範囲 ②廻り縁寸法 ③樹種及び表層仕上げ	不要とします。
98	A-302 A-303	ホール庇見切金物アルミカットパネルの取付下地補強の詳細仕様について御指示下さい。	C-60×30×10×1.6@450とします。
99	A-304	X3通幕板上部膳板の下地について、通し材C-60×30×10×1.6間の繫材が表記されておりますがヒッチが不明です。450間隔と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
100	A-009 A-015	仕上表に天井耐震補強のB2及びCに該当する範囲が記載されておりますが、軽量鉄骨天井下地の仕様はそれぞれ下記のように考えて宜しいでしょうか。相違する場合詳細御指示下さい。 ①耐震補強B2:25型 野縁CW-25 ②耐震補強C:19型	天井下地は耐震補強区分ごとではなく、天井の重量等の条件により決定しております。屋内で特記なき部分は公共建築工事標準仕様書の通り19型としますが、図示の通りA-015特記事項に記載のC3天井は天井の重量によりCW-25としています。
101	A-001	室内空気中の化学物質の濃度測定について、測定回数は1回と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	現場説明書に記載の測定方法によるものとします。
102	A-002	石シーリングは下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①目地シーリング:シリコン系(SR-1) 10×10 ②入隅シーリング:シリコン系(SR-1) 8×8	石目地シーリングは以下とします。 大理石以外:2成分形変性シリコン系(MS-2) 大理石:2成分形ポリサルファイド系(PS-2) 寸法は6×6とし、外部壁については8×8とします。
		(建具)	
		<共通>	
103		ガラス留めシーリングは下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (突付シーリングを含む) ①外部側:PS-2(2成分形ポリサルファイド) ②内部側及び防火設備建具:SR-2(2成分形シリコン)	1成分形シリコン系(SR-1)とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
104		衝突防止シール及び飛散防止フィルムは、図中に記載が御座いません。必要な場合は該当建具・仕様・詳細を御指示下さい。	不要とします。
105	A-201他	建具表に電気錠の記載が御座いません。電気錠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
106		建具廻りの詰め物は、RC及びPCに接する部分のみモルタル充填と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
		<貴賓室>	
107		外部建具廻りシーリングは下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■変性シリコン系(MS-2) W15×D10 (数量公開資料より、P-26)	変成シリコン系15×10+15×10とします。
108	A-003	アルミ製建具・ガラリに関して、下記項目に関して、御指示下さい。 ①耐風圧性等の性能 ②防鳥網の有無・仕様 ③チャンパーボックスは設備工事とし、ダクト接続枠までを建築工事として宜しいでしょうか。	①建具表備考欄の仕様によります。 ②ステンレス防鳥網付きとします。 ③ダクト接続用フランジまで建築工事とします。 追加補足図A-202、203を参照してください。
109	A-017 A-202	SSW-106は建具表(9か所)と1階平面図(2か所)で数量が相違しています。建具表を正とし、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■貴賓室2・・・5か所 ■貴賓室3・・・4か所	よろしいです。
110	A-201	建具表SSDの備考欄で扉仕上がそれぞれ緞子貼りと化粧合板の場合、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (例)SSD-112 ①扉・幕板片面:緞子貼り ②扉・幕板片面:天然木練付化粧合板 ③枠:B-AE・S	よろしいです。緞子張り、天然木練付化粧合板等の仕上げは隣接する壁仕上げと同仕様とします。 合わせて追加補足図A-201を参照してください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
111	A-004 A-201 A-202	SSD-101・105・SSW-101～204は建具表の備考欄に防弾ガラスの記載が御座いますが、特記仕様書では高透過ガラスで構成されると記載が御座います。ガラス種類・厚さ等あれば御指示下さい。	A-004に図示の通り、防弾ガラスを構成するガラスは高透過ガラスとし、図示の規格を満たすものとします。
112	A-202	建具表の建具形式D16は姿図ではSUS-FBと記載が御座いますが、該当建具の建具表の備考欄にはST-FB記載されており相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ST-FBを正とします。
113	A-202	SD-101～104・109・110は建具表の備考欄に面材左官仕上の記載が御座いますが、【数量公開資料 別添①P-77】より『左官(3) 色土漆喰ひきずり 厚13』と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 追加補足図A-008、202を参照してください。
114	A-202	上記質疑に関連して、上記の建具はST-FBの記載が御座いますが、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 扉小口部: ST-FB(B-AE・S仕上) 扉片面: 左官 扉片面・枠: SOP	以下の通りとします。 扉小口部: ST-FB(B-AE・S仕上) 扉片面: 左官 扉片面: SOP 枠: B-AE・S仕上
115	A-201 A-205	SSD-101他 エッジプロテクターの仕様について 備考欄に記載のエッジプロテクターは下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■ステンレス □-32×1.5 B-FE(P)・M (A-205図より)	SUS304-■32+B-FE(P)・Mとします。 (■は無垢材を示す)
116	A-201 A-205	SSD-101他【数量公開資料 別添①P.-84～87】記載項目に関して、下記項目は図中のどの部分を指しているか御指示下さい。 ①SSD-101: FIX部巾木H=200、方立下地・防弾用下地共 ②SSD-103: 車寄せ側巾木H=150、方立下地・防弾用下地共 ③SSD-105: FIX部巾木H=200、方立下地・防弾用下地共 ④SSD-107: 車寄せ側巾木H=150、方立下地・防弾用下地共	巾木寸法は建具詳細図(H=60)を正とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
117	A-204	SSD-101～108のガラス納まりは、コーナー部・フラット部共に方立納まりと考えて宜しいでしょうか。 又、シール納まり(突付シーリング)とする場合は該当箇所を御指示下さい。	全てA-205、206と同様の納まりとします。
118	A-201 A-205	SSD-101～108の枠見込は建具表では枠見込105及び62となっておりますが、建具詳細図1(A-205・SSD-103,104)では枠見込150となっております。上記建具は全て枠見込150と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具詳細図を正とします。
119	A-201 A-405	SSD-111の枠及び付額縁は、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①SSD-111 本体枠：枠見込200(A-405図より、建具表は120) ②付額縁：A-405図より必要とし、195×45 B-FE(P)仕上 ③SSD-111～付額縁間 シーリング：変成シリコン系(MS-2) 15×10	①よろしいです。 ②よろしいです。 ③よろしいです。
120	A-202 A-204	SSW-101～105の膳板・額縁は一部図面に記載されておりますが、該当範囲・仕様等が不明です。それぞれ建具毎に御指示下さい。	SSW-101～103はA-206、 SSW104、105はA-207によるものとします。
121	A-206 A-207	SSW-101～105の枠見込が建具詳細図2・3『1階防弾スクリーン枠 立断面図』1階部分と建具表(枠見込105)と相違しております。再度上記SSWの枠見込を御指示下さい。 ■建具詳細図2：上枠見込172.5 ■建具詳細図3：四周見込143	建具詳細図を正とします。詳細図は上枠、下枠、縦枠及びそのチリ等それぞれの寸法を示しています。
122	A-202	SWの額縁は図中に記載されておりません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
123	A-202～204	SW-203～205・207の寸法が建具表と姿図で相違しています。姿図の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 追加補足図A-202を参照してください。
124	A-202	SW-201～208は【数量公開資料 別添①P-81・82】にて、『枠：スチールFB』との記載が御座いますが図示等は御座いません。FB枠のままと考えて宜しいでしょうか。又、詳細図等御座いましたら御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
125	A-202	LSD-104・108・109のガラス寸法が不明ですので御指示下さい。 又、ガラス化粧フィルムの参考メーカー・品番が御座いましたら併せて御指示下さい。	LSD-104: 350 × 1750 LSD-108: 400 × 1750 LSD-109: 400 × 1750 ストレートワシSH2FGSW(住友3M)同等以上とします。
126	A-005 A-203	各WDの仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①扉・枠共: 天然木練付化粧合板(2) ②仕上表UC塗装: 特記仕様書内装工事より、染色ウレタンCL3分艶有とする (数量公開資料より建具工事)	天然木練付化粧合板(2)染色ウレタンCL3分艶有とします。 追加補足図A-203を参照してください。
127	A-203 A-208	WD-101～114は【数量公開資料 別添①P-78・79】にて、枠寸法『175×7』と記載 されております。建具詳細図4 木製建具枠詳細図では『175×41』と思われます。 建具詳細図4を正と考えて宜しいでしょうか。 又、『175×7』を正とする場合は詳細を御指示下さい。	7は見付部分の寸法を記載しており、形状はA-208の通りとしま す。
128	A-203 A-208	WD-115～117は【数量公開資料 別添①P-79】にて、枠寸法『100×35・45・125× 55』と記載されております。建具詳細図4 木製建具枠(WD-115～117)詳細図では 『100×50・60・125×100』と思われます。建具詳細図4を正と考えて宜しいでしょ うか。 又、『100×35・45・125×55』を正とする場合は詳細を御指示下さい。	寸法押え位置の考え方によるもので、形状は図の通りとします。
129	A-208	上記質疑に関連し、建具詳細図4 木製建具枠(WD-115～117)詳細図で『織物クロス 貼り』との記載が御座いますが、建具のどの部分に必要か不明です。該当は範 囲・詳細・品番等を御指示下さい。	隣接する壁仕上げを示しています。A-110と合わせて参照してくだ さい。
130	A-202	SD-109 消火器スペース扉について WD-115他に倣い消火器表示カッティングシートを見込むと考えて宜しいでしょうか。 又、特殊な納まりが御座いましたら詳細を御指示下さい。	WD-115～117と同様、カッティングシートH=50とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
131	A-301	上記質疑に関連し、雑詳細図1 D-0119『消火器ボックス(石張)前室』の納まりを適用する建具は無いと思われま(SD-109は左官仕上)。該当建具が御座いましたら御指示下さい。	A-108前室4-C展開右下部に記載の個所に設置とします。
132	A-007	特記仕様書音響関連工事に防音建具と記載されておりますが、該当建具を御指示下さい。	建具表の性能欄に記載の建具を対象とします。
133	A-109 A-202 現場説明書17図	SD-108はHWC側の仕上が建具表・水廻り詳細図・現場説明書(壁仕上イメージ)で下記のように相違しています。正しい仕上(扉・枠それぞれ)を御指示下さい。水廻り詳細図が正の場合は化粧合板の種類も併せて御指示下さい。 ■建具表…B-AE・S ■水廻り詳細図…天然木練付化粧合板 ■現場説明書…大理石(5)	B-AE・Sを正とします。 なお、現場説明書別添資料集については、壁仕上げを示しています。
134		上記質疑に関連して、SD-108のホール側の仕上も御指示下さい。	B-AE・Sを正とします。
135	A-129・130	展開図12・13で下記のように建具表の姿図と相違している建具が複数御座います。建具表の姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (例) 展開図(誤) 建具表(正) ■LSD-109 ガラス・ガリ無 ガラス・ガリ有 ■SSD-110 ガリ無 ガリ有	よろしいです。
136	A-126 A-127 A-204	展開図9・10でSSD-101・103・105・107のガラスの割付が建具表の姿図と相違しています。建具表の姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
137	A-021 A-204	北側立面図でSSD-101・103のガラスの割付が建具表の姿図と相違しています。建具表の姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
138	A-022 A-204	南側立面図でSSD-107のガラスの割付が建具表の姿図と相違しています。建具表の姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
139	A-017 A-104 A-201	1階平面詳細図4で屋外消火栓にSD-121(2か所)の記載が御座いますが、1階平面図・建具表ではSSD-121と相違しています。1階平面図・建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
140	A-206他	一部図面の建具下部に水抜パイプの記載が御座います。該当建具・範囲・仕様・詳細を御指示下さい。	追加補足図A-202を参照してください。
141	A-207	建具詳細図3『1階防弾スクリーン枠 立断面図』1階部分の建具下枠押し棒は取外し可と記載されておりますが、上記に該当する建具を御指示下さい。	SSW-104、105とします。
142	A-304	SW-208の上部両側に遮音シールの記載が御座います。下記項目について御指示下さい。 ①該当建具を御指示下さい。 ②シール詳細:変成シリコン系(MS-2) 10×10	①貴賓室1～3に面する建具の天井裏の取り合い部全てとします。 ②壁工法仕様によるものとします。
143		【数量公開資料 別添①P-79】の下記ガラスに関して、適用となる建具・項目を御指示下さい。 ①合わせガラス WFL厚3+WFL厚3 W200×H2800 7か所 ②合わせガラス WFL厚3+WFL厚3 W200×H880 7か所 ③合わせガラス WFL厚3+WFL厚3 W200×H1560 7か所	組柱取り合い部となります。A-307、308を参照してください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
144	A-201 A-203	木製建具金物について 下記金物に参考メーカー及び品番が御座いましたら御指示下さい。 ①PH:ヒョットピンジ ②LH(2):レバーハンドル Stキャスト本漆仕上(おはぐろ) ③DL:シリンダー本締錠 ④DC(1):ドアクローザー(隠蔽型) ⑤DS(1):戸当り Stキャスト本漆仕上(おはぐろ) ⑥KH:隠し丁番 ⑦MS:アームストッパー(コンソール) ⑧MC:マグネットキャッチ	メーカー・品番指定はありません。
145	A-203	上記質疑に関連し、WD-115~117は取っ手やハンドルに関する記載が御座いません。必要な場合は詳細を御指示下さい。	不要とします。
146	A-017 A-104 A-203	MWC5及びWWC5のトイレブース LU-101~103は、平面図ですとトイレブースの図示、平面詳細図ですと扉のみブース・壁は間仕切の図示で相違しております。平面図を正と考えて、トイレブース(扉+壁共ブース)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
		<制限区域外>	
147	A-602 A-604	LU-401・404の員数が、それぞれ建具表 2箇所、キープラン 1箇所相違しております。キープランを正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
148	A-601	SSD-401の備考欄について SSD-301と同仕様の建具と思われませんが、備考欄『L-25×25×3アングル取付・下地FB-3-32共』は適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 追加補足図A-604を参照してください。
		(外構)	
		<共通>	
149	A-701	確認となりますが制限区域内外の境界線は制限フェンス及び管理用門扉Bと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
150	S-002	特記無き外構工作物について下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①捨てコンクリート Fc18N S-15又は18(構造図無筋コンクリート同様) 厚50 ②碎石(RC-40) 厚100	①よろしいです。 ②150厚としてください。
151		特記無き外構基礎の仕上は天端 コンクリート金鍍、立上り 打放補修(B種)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
152	A-601 A-603	化粧室ピットの仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①床 コンクリート金鍍 ②壁 打放補修(B種) ③天井 仕上なし ④釜場 防水モルタル金鍍	①床:C+T ②壁:打放C種 ③天井:打放C種 ④釜場底:C+T、釜場立上り:C打放(B種)
153	A-601 A-603 A-604	化粧室ピットのトラップはφ22と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建築工事標準詳細図8-31-1によります。
154	A-002 A-601 A-603	花崗岩(9)について寸法は図示と特記仕様書(2)にありますが図面上に見受けられません。花崗岩(9)の寸法を御指示下さい。	図の割付によるものとしますが、概ね以下の通りとします。 制限区域内化粧室:1500×750程度 制限区域外化粧室:1900×750程度、1600×750程度
155	A-002 A-601 A-603	汚垂石(花崗岩9)の厚みが特記仕様書(2)と制限区域内外化粧室詳細図1で相違します。特記仕様書(2)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■特記仕様書 厚30 ■制限区域内外化粧室詳細図1・3 厚35	t=35とします。
156	A-002 A-601	大理石(6)について寸法は図示と特記仕様書(2)にありますが図面上に見受けられません。大理石(6)の寸法を御指示下さい。	図の割付によるものとしますが、概ね以下の通りとします。 制限区域内化粧室:1020×430程度 制限区域外化粧室:1060×430程度
157	A-601 A-603	化粧室外壁の大理石(6)(乾式工法)には下記下地を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①外壁 打放補修(A種) ②外壁天端 コンクリート金鍍	以下の通りとします。 ①外壁 打放補修(C種) ②外壁天端 C+T

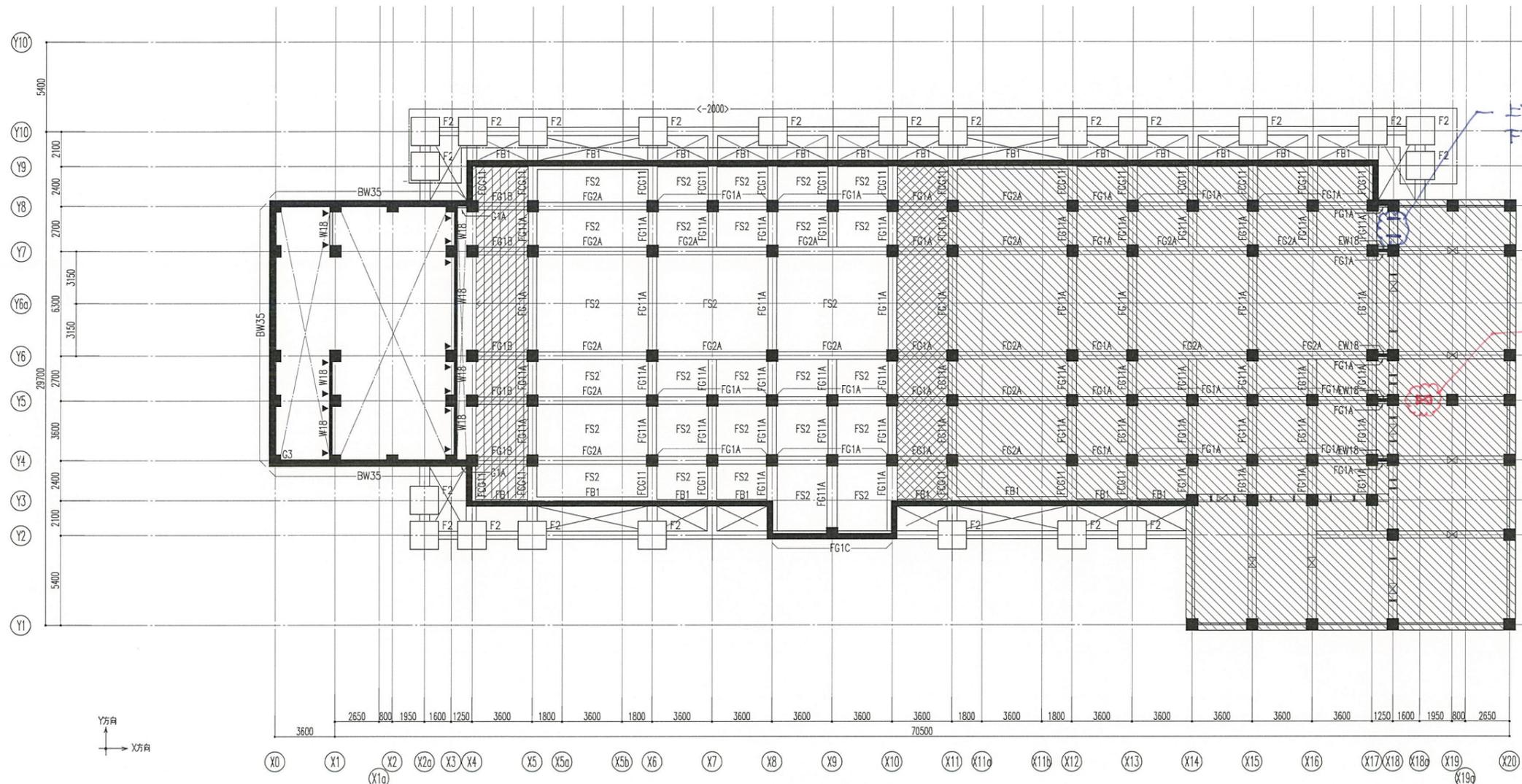
質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
158	A-601 A-603	便所に手摺の記載がありますが外構工事で計上する場合には詳細を御指示下さい。	追加補足図A-604を参照してください。
		<制限区域内>	
159	A-801 A-805	本体躯体から延びる排水管 取④～⑩は雨水排水詳細図4の管路諸言一覧表に記載されていない為土被りが不明です。一律H=300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該管のレベルは側溝底+150を水上側管底とし、本管につながるものとしします。
160	A-804	現場打ち柵の仕上が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①柵天端・底・柵底:コンクリート金鍍 ②柵立上り:打放補修(B種)	①C+T ②C打放(B種) とします。
161	A-704	排水弁柵の配筋が不明です。D10 @200 シングル配筋と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別紙S⑥を参照してください。
162	A-701	アスファルト舗装の凡例は欄外で白抜きの凡例にて記載されておりますが外構詳細図3 擁壁A・C及び擁壁B詳細図では同じく白抜き範囲の屋外機置場に塗床(3)と記載されており具体的なアスファルト舗装範囲が不明です。具体的なアスファルト舗装の範囲がわかる資料を御指示下さい。	追加補足図A-701を参照してください。
163	A-006	砂利敷に該当印がありますが他の図面で見受けられません。今回砂利敷きを見込む場合詳細及び範囲を御指示下さい。	外構図(A-705、804)を参照してください。
164	A-701	貴賓室南東部に飛び石がありますが詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	花崗岩(3)と同仕様、450×450とします。
165	A-006	下記舗装試験の実施数量が不明です。実施数量を御指示下さい。 ①路床土の支持力比試験(CBR試験) ②路盤の締固め度試験	①3か所とします。 ②3か所とします。
166	A-704	擁壁A～Dを指して左官(1)-1、左官(1)-2とありますが詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	追加補足図A-008を参照してください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
167	A-021	西側立面図で擁壁Aの範囲を指して見本施工の範囲とありますが計上する項目・数量が不明です。詳細を御指示下さい。	仕上げを確認するものであり、舗装より上部H1800の仕上げ面を対象とします。追加補足図A-017も合わせて参照してください。
168	A-704 S-065~066	擁壁A~Eについて外構詳細図3と構造図で寸法が相違している場合は構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
169	A-701	擁壁Hの詳細が不明です。配筋・仕上を含む断面詳細を御指示下さい。	A-705の庭園断面図を参照してください。。配筋はD13@200(タテヨダブル)としてください。
170	A-704	擁壁A~CにRC+DPとありますがRCの詳細が不明です。打放補修(B種)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	塗装下地面はA種とします。
171	A-704 S-065・066	擁壁F・Gの配筋は構造図によるとありますが構造図上で見受けられません。擁壁D同様D13 @200 ダブルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
172	A-704	擁壁A~D・Fに化粧目地とありますが寸法が不明です。20×10程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	W20×D25程度とします。
173	A-704	擁壁A~D・F~Gの石下地はモルタルとし厚30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
174	A-701 A-704 S-066	擁壁Eの基礎は外構平面図では独立基礎として記載されておりますが400×400と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
175	A-704	擁壁Gの花崗岩(8)について寸法が記載されておられません。寸法を御指示下さい。	縦目地は図示の通り900、水平目地は無し(1枚もの)とします。
176	A-704 S-066	フラッグポール基礎は外構詳細図3でH=150土中に埋設されていますが構造図では天端=GL高さとなっております。外構詳細図3を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
177	A-704	伝送制御装置基礎・監視カメラ基礎・赤外線センサー基礎用アンカーボルトはSS400と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
178	A-704 S-066	アンテナ基礎の形状が外構詳細図3と構造図で相違します。構造図の基礎は捨てコンクリートが地盤面に露出している為、外構詳細図3を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
179	A-704	伝送制御装置基礎・監視カメラ基礎・赤外線センサー基礎に機器取付用アンカーが記載されておりますが外構工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。またベースプレートがアンカーで固定されておりますがベースプレート及び無収縮モルタルは設備工事と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。 設備工事は別途設備工事です。
180	A-104	屋外機置場2にある基礎(1400×600×H500)についてH=500のうちH=200が土中に埋設されているものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
181	A-301	点検歩廊の上裏を指してRC+DPとありますがDP塗装下のRC下地は打放補修(B種)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	塗装下地面はA種とします。
182	A-301	点検歩廊の段部を指してコンクリート金罫+塗床(3)とありますが蹴込部分のコンクリート下地は打放補修(B種)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
183	A-706	水盤1～3について配筋が不明です。D13 @200 ダブルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別紙S⑦を参照してください。
184	A-706	各水盤に必要なアンカーボルト及び自重受けボルトの数量が不明です。外構詳細図5(水盤GRC)の平面図で水盤は一部のみ記載されておりますが、記載されていない範囲については900ピッチでアンカーボルト4本と2本が交互にあるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該図面の平面図に記載のX4通り+1,800部分が標準納まりとなります。
185	A-706	GRC 取付詳細図でPL-6とありますが溶融亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
186	A-706	GRC 鎖樋部取付詳細図でL型鋼に自重受けホルト及びアンカーホルト(インサート含む)が記載されておりますが取付ピッチが不明です。取付ピッチを御指示下さい。	当該図面の平面図の通りとします。
187	A-706	コンクリート躯体より跳ね出したGRC材を受けるL型鋼(L-100×100×10)は溶融亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
188	A-002 A-302 A-706	特記仕様書(2)で花崗岩(6)の寸法は図示とありますが、部分詳細図(1)及び外構詳細図(5)で花崗岩(6)の寸法が記載されておられません。花崗岩の寸法を御指示下さい。	長手1,800を基本とし、割り付けはA-017を参照してください。
189	A-705	水盤1～3に釜場がありますがモルタル金鍍の上、ポリマーセメント系塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
190	A-302 A-303 A-706	外構詳細図5で水盤の平面含む詳細図がありますが、水盤1～3の詳細図と思われる。水盤4～9は部分詳細図で記載されておりますが平面詳細がありません。水盤4～9について平面詳細図がありましたら御指示下さい。	当該部分は建築本体躯体持ち出しのため、外構図ではなくA-101～104を参照してください。
191	A-705	庭園土間コンクリートの配筋が不明です。D13 @200 シングルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S-053 床スラブリスト共通事項の土間コンクリートを参照してください。
192	A-705	庭園の石材について棒石は各石ごとの寸法が記載されておりますが大石は重量のみ記載されております。大石の寸法を御指示下さい。	自然石のため大きさは概ねの目安とし、図面からご判断下さい。
193	A-007	植栽基盤整備でA・B種とありますが一方で客土の種類も記載されております。植栽基盤A・Bを正とし、客土は今回見込まないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	客土の種類を正とし、芝、地被類はC種とします。
194	A-007	築山部の盛土は良質な盛土材とありますが現場発生土のうちの良質土と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
195	A-007	土壌改良材に該当印がありますが今回植栽範囲全域を対象と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
196	A-007	下記植栽試験の実施数量を御指示下さい。 ①土壤の水素イオン濃度指数(pH)試験 ②土壤の透水性・塩分濃度・土壤硬度試験	それぞれ1か所としますが、実施方法の詳細は協議によることとします。
197		下記項目の参考メーカー・品番・型番等ありましたら御指示下さい。 ①グレーチング蓋(側溝・桧) ②フラッグホール ③アルミキャストフェンス(擁壁B・E上部) ④笠木(擁壁A・C・D・F天端) ⑤床下点検口(化粧室外部・内部床) ⑥撥水剤(化粧室内壁) ⑦珞素樹脂塗装(化粧室外壁) ⑧洗面カウンター(化粧室)	メーカー・品番指定はありません。



上部 通気管(100φ)
下部 連通管(150φ半割)

人通孔

B1階+2600伏図 S=1/150

特記なき限り

1. 天端レベルはB1FL(=1FL-5100)を基準とする。
2. 基礎下端レベル=設計GL-2400
3. ()内数値は設計GLからの基礎下端レベルを示す。
4. スラブ符号は FS1 とする。
5. 小梁符号は FB1 とする。
6. 壁符号は BW35A とする。
7. □印は床開口を示す。
8. □印は埋戻しを示す。
- ▽印は溝蓋スリットを示す。
9. □印は人通孔(600φ)を示す。
10. □印は上部:通気管(100φ)
下部:連通管(150φ半割)を示す。

特記なき限り、床梁レベルは下記による。

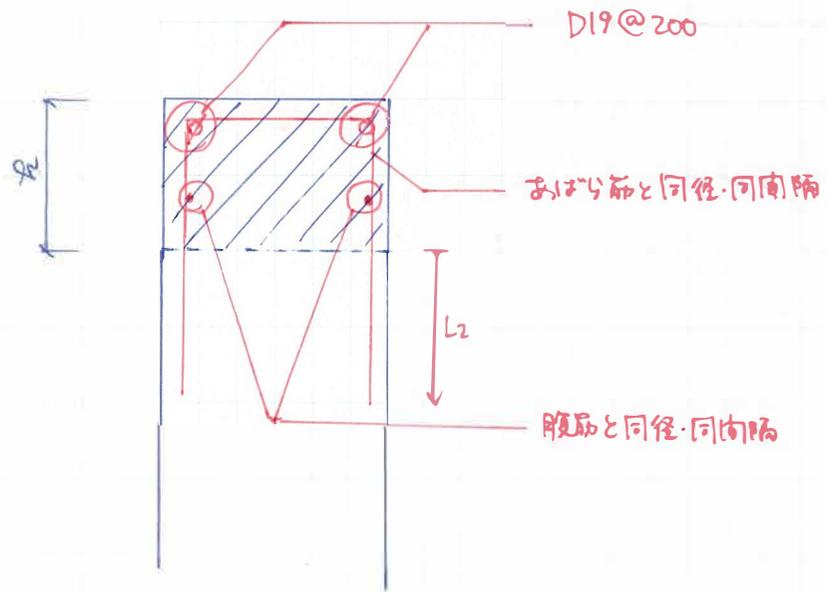
記号	床天端レベル	床天端レベル
□	B1FL+3290	B1FL+3290
▨	B1FL+3290-B1FL+2590	B1FL+3290-B1FL+2590
▩	B1FL±0-B1FL+2590	B1FL±0-B1FL+2590
□	B1FL+2590	B1FL+2590

床レベルに差が生じる場合の梁レベルは、低い方の梁レベルとする。

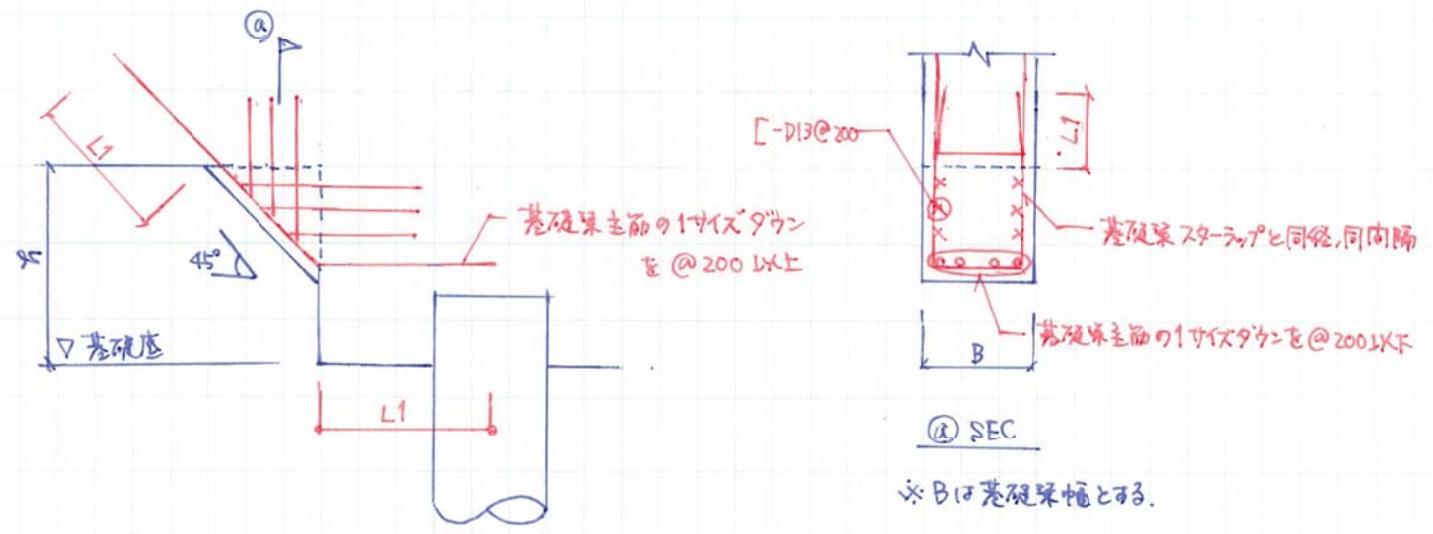
別紙S

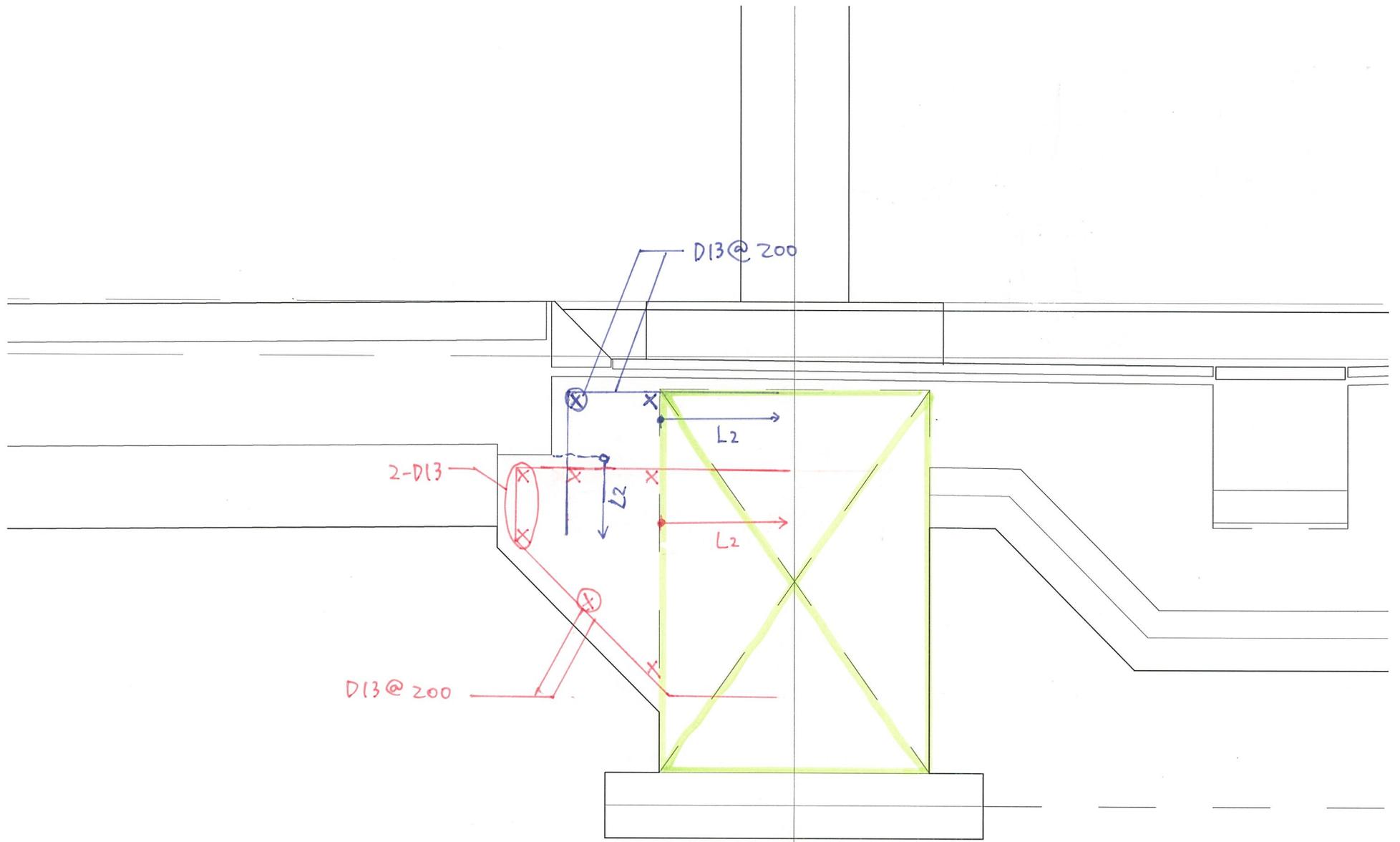
国土交通省 東京航空局 空港部 建築室					
名称	東京国際空港新貴賓室新築工事				
	B1階+2600伏図				
調査年月	平成30年3月	単位	mm	尺度	A1: 1/150 A3: 1/300
調査員	総括調査職員 松村社敏 建築調査職員 馬上 威 建築調査職員 大江良太	設計者	株式会社 持設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人		
				図番	S - 027

$h > 200$ のときのフック等価

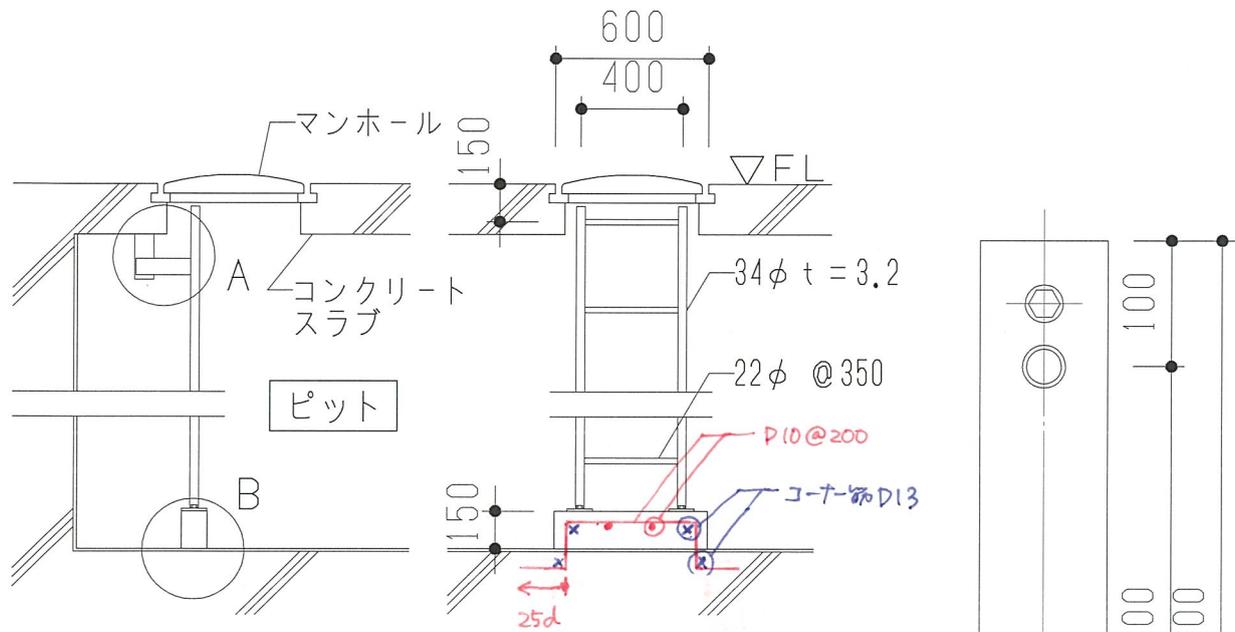


7. バックレス補強要領

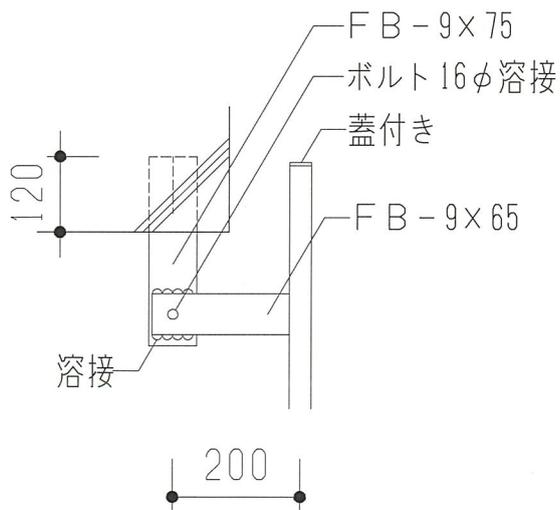




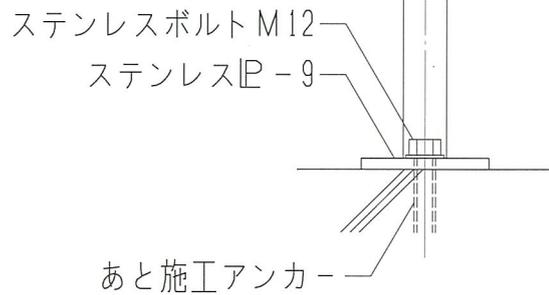
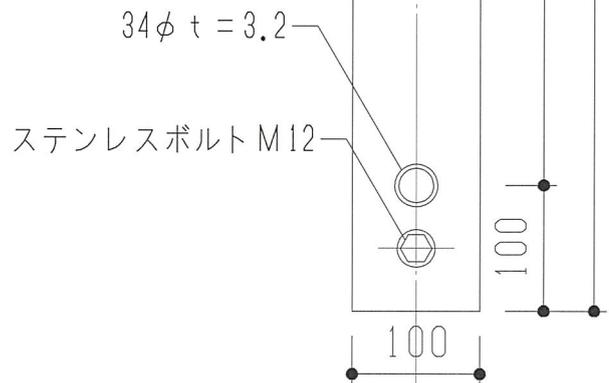
D-0110	タラップ (ピット内)	1 / 10	1 / 20	1 / 50
--------	-------------	--------	--------	--------



1 / 50

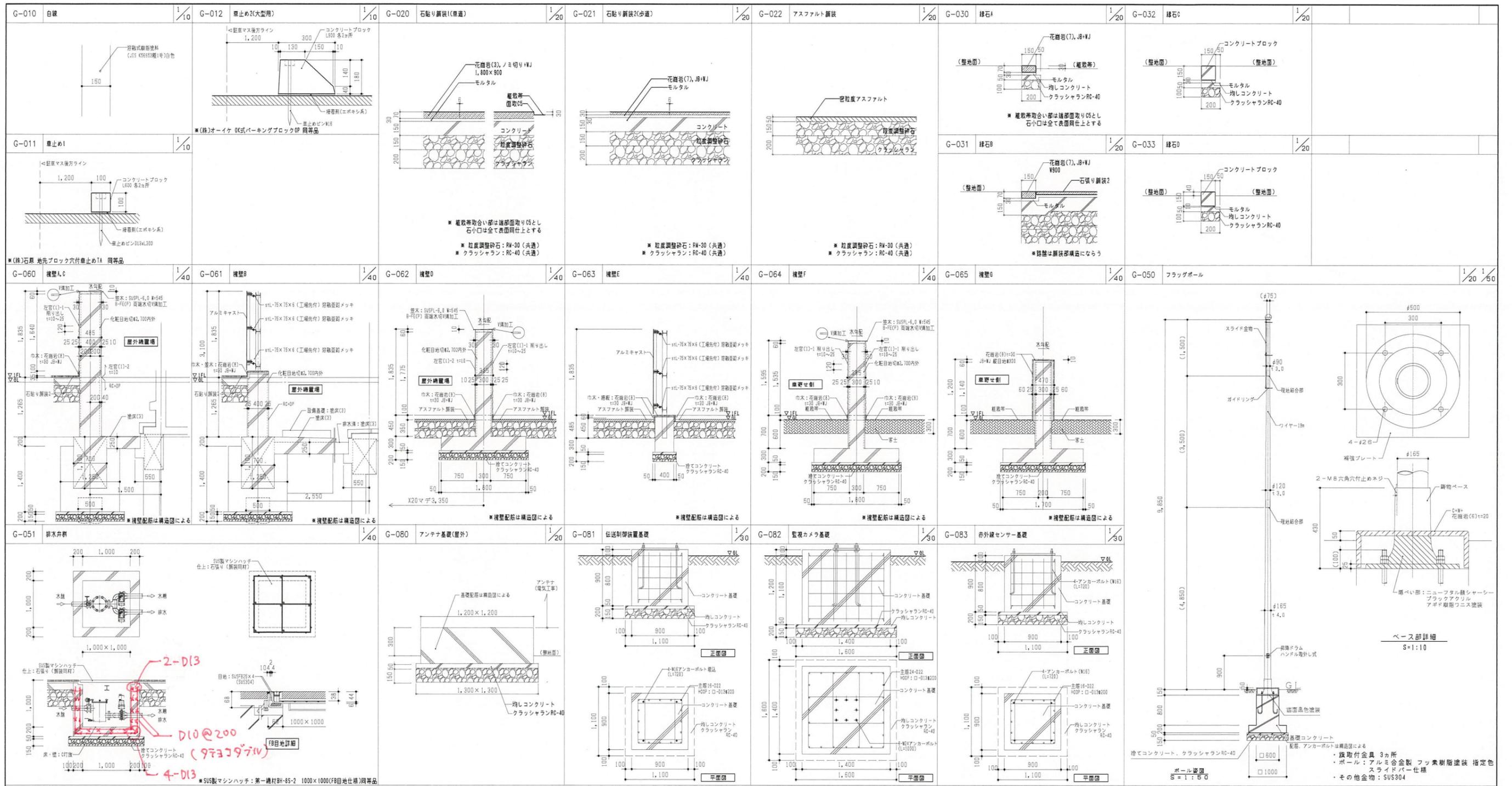


A部詳細 1 / 20



B部詳細 1 / 10

□材質はステンレスSUS304 HLとする



別紙S

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室				
東京国際空港新貴賓室新築工事				
外構詳細図3				
平成30年 3月	単位	mm	尺度	A1: 1/30 A3: 1/60
調査員	総括調査員 松村社敏 建築調査員 馬山 威 建築調査員 大江良太	設計者	株式会社 特設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人	図番 A - 704

